

# 満員イベント球場で検証へ

## 新型コロナ 人の動きや密度調査

政府は15日、新型コロナウイルス感染症対策分科会を開いた。プロ野球の試合で球場に満員近い定員の80%程度の観客を収容し、影響を調べる実証実験に向け議論を始めた。プロ野球の球場での実証実験は神奈川県と横浜市、IT企業ティ

イー・エヌ・エーDENAが行い、専門家の了承を得た上で、横浜スタジアム(横浜市)で10月30日から3日間の実施する。

高精度のカメラを使って人の動きや密度、マスクの着用率などを調べ、政府のイベント入場制限の緩和に

### 現在のイベント開催制限

- 観客が大声を出さない映画・演劇、パレエ、クラシック音楽のコンサートなど **100%以内(満員も可)**
  - 歓声や声援が想定されるプロ野球やサッカーのJリーグ、ロックコンサートなど **50%以内**
  - 収容人数が1万人超 **収容人数の50%**
  - 収容人数が1万人以下 **5000人**
- ※期間は11月末まで、収容率と人数上限のどちらの条件も満たす必要がある

に向けた判断材料にする。感染者と濃厚接触した可能性を知らせるスマートフォン向け接触確認アプリ「COCOA(ココア)」の使用も推奨する。政府は新型コロナ対策で実施していたプロスポーツや映画館などの入場制限について、9月19日にそれぞれ5千人を上限としていた規制を緩和。政府の指針では11月末まで、プロ野球やサッカーJリーグといった定員1万人超の大規模イベントの上限は会場の収容人数の50%となっている。規模が小さく感染リスクが低い

演劇やクラシック音楽のコンサートなどの催しのほか、映画館で食事をせずに鑑賞する場合は満員も認められている。

来年の大学入学共通テストの感染対策についても、感染者と濃厚接触した受験生でも無症状で陰性が確認されれば別室での受験を認める案を文部科学省が提示し、専門家の意見を聞いた。西村康稔経済再生担当相は会合で、共通テストでは「試験当日に自主検温をしてもらい、37.5度以上ある場合は受験を取りやめ、追試験を受けていただく」と述べた。

共通テストの感染対策は本格的な入試シーズン前に、受験生に不利にならないよう配慮するのが目的で、受験生の体調確認や会場で密集しない方法なども検討する。

神戸新聞 10月15日(木) 夕刊分

日本に住む人々というのは秩序を保ち、理性を失うことなく公共の福祉を大切にして、社会としてより良く生きることを目指せる誇るべき国家の元に行動をみせている。自分だけとなることのないように心がけたいものです。